



## バス路線に「めがみちゃん」が出現！

3月28日、舟形町営バスのバス停の標柱が、「めがみちゃん」をモチーフにしたデザインのものに変わりました。みなさん、よろしくお願いします。



## ほほえみ保育園卒園式

3月27日、ほほえみ保育園で第6回卒園式が行われました。44名の卒園児は保育修了証書を手にと将来の夢を発表しました。佐藤栄起園長は「小学校に入学したら、みんなと仲良く、元気いっぱい、笑顔いっぱい学校に通いましょう」とエールを送りました。



## 舟形の新しい味覚を試食

3月23日、舟形町中央公民館で舟形町食の祭典『特産品試食会』が開催され、町内外から約100名の方が参加しました。これは、平成25年度加工品開発事業で(株)舟形振興公社が、町内で生産された農林水産物を使って新商品の開発に取り組んできたもので、「鮎の酒干し」「鮎のオリーブオイル漬け」「アスパラのピリカラ漬け」などの試作品を試食・批評を行いました。



## 観光情報の発信はここから！

3月23日、町の玄関口である舟形駅が、舟形観光物産センターめがみとしてリニューアルオープンしました。当日の落成式には、奥山知雄町長の他、伊藤重成県議会議員、信夫正雄町議会議員、伊藤宏もがみ南部商工会舟形支部長、正野定見JR東日本新庄駅長がテープカットを行いました。今後は、商工会と連携し、観光情報の発信、物産の販売・軽食喫茶、町民コミュニティの場として利用していきます。



### 役場本庁舎耐震工事が完成

平成25年7月から9ヵ月にわたり行われていた役場本庁舎の耐震工事が、3月17日に完成しました。災害等の有事の際に、復興拠点となる役場本庁舎の耐震強度を上げることはもちろん、来庁されたみなさんの命を守ることもつながります。長らくご不便をおかけしましたが、強く生まれ変わった庁舎でみなさんをお待ちしております。



### 舟形小学校卒業式

3月18日、舟形小学校で統合後初めての第1回卒業式が行われ、渡辺正校長先生より33名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



### 舟形中学校卒業式

3月16日、舟形中学校で卒業証書授与式が行われ、50名の卒業生一人ひとりに荒井校長から卒業証書が手渡されました。荒井校長は、「これから進む新しい道に踏み出す一歩。その自分だけ一歩一歩を大切に歩んでほしい。自分を磨いてほしい。」と式辞を述べられました。



### オリジナルのハンコ作りに挑戦

3月15日、舟形町中央公民館で消しゴム版画教室を開催しました。町民の方など8名が参加し、自分だけのハンコ作りをしました。「細かい作業がすごく難しい。ちゃんとできているのか不安だけど、押された印影に感動しました。」と参加者の一人は話してくれました。



### 2年間の集大成

3月7日、保健センターで地域おこし協力隊が、平成25年度の活動報告を行いました。今年で地域おこし協力隊としての任期を終える小林信之隊員は、活動報告の他に舟形に移り住んでからの2年間で印象に残っていることや感じたことを、地区ごとにまとめ発表しました。

広報ふながた3月号で紹介しています。



### 子どもたちの安心安全を願って

3月7日、舟形ほほえみ保育園でかもしかクラブ修了式が行われ、かもしかクラブリーダーの木島真紀さんから修了証が一人ひとりに手渡されました。園児たちは、このクラブで教わった交通ルールや、家の周りで遊ぶ時の約束ことなどをおさらいしました。また、子どもたちの安全を地域全体で守っていきましょう。



### 日本消防協会特別功労賞受賞

3月4日、舟形消防団長 加藤憲彦さんが日本消防協会特別功労賞を受賞されました。入団以来、消防活動や予防消防、防災対策など、長年にわたる消防活動の実績が認められての受章です。「これからも安心安全のまちづくりにまい進したい」と新たな決意を話してくれました。



### 舟形町農業委員会委員選挙選人当選証書附与式

3月3日、任期満了に伴い行われた舟形町農業委員会委員選挙の選人当選証書附与式が保健センターで行われ、新人2名を含む7名の当選者に佐藤順子選挙管理委員長より当選証書が附与されました。任期は平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間です。よろしくお願いします。

## Old Kyu News(平成26年3月)



### ポールでエクササイズ！

3月2日、舟形町B&G海洋センターで「ノルディックウォーキング教室」が行われました。スキースティックに似たポールと呼ばれる道具を使うことで、全身の筋肉を刺激し、より多くのエネルギーを消費させるこのウォーキングは、体づくりや減量だけでなく、肩こり解消などにも効果が期待できます。



### ラリーの応酬

3月2日、生涯学習センターで「東部地区ふれあい卓球大会」が開催され、小学生から86歳の方まで38名が参加しました。日頃の練習の成果を発揮しようと、一球一球に集中。真剣な中にも、和気あいあい、笑顔いっぱいのものでありました。

## Old Kyu News(平成26年2月)



### Funagata winter fes 2014

2月23日、Funagata Winter Fes 2014が舟形若あゆ温泉ふれあい広場で開催されました。これは青年団体「FITS」が企画・運営したもので子どもたち20名が参加しました。「宝探し」や「スノーモービル体験」、「イグルー作り」などの他にも、「キャンドル作り」コーナーも設けられ、親子で舟形の冬の遊びを満喫しました。

また、山形大学の「最上地域で楽しい活動」をすることを目的としたサークル「ともしび」のメンバー9名も参加し、様々な雪像を作るなど会場を盛り上げました。



### 長沢遊々塾「雪遊び」

2月22日、生涯学習センターで長沢子ども遊々塾「冬季自然体験学習」が、長沢親和会のみなさんからの指導のもと行われました。長沢地区の児童23名が参加し、肥料袋と段ボールで手作りした「そり」を使って「そり遊び」をしました。また、子どもたちは、遊々塾が行なっている地域活動を体験しに来た東北福祉大学の学生19名ともふれ合いました。

お昼には、長沢地区婦人会のみなさんが振る舞ってくれた豚汁で、心も体も温まりました。



### きらやか銀行が図書教材を寄贈

2月21日、舟形小学校(校長渡辺正さん)に一般財団法人きらやか銀行教育振興基金から図書教材36冊が寄贈されました。きらやか銀行では、教育振興基金を創設し、県内の小学生から募集した「暮らし」に関する作文で「くらしの文集」を発刊しています。その文集に応募した学校の中から舟形小学校が選ばれ、最上管内で初めて寄贈されたものです。

「いろんな本をたくさん読んで、子どもたちの文章の表現力などを伸ばしてほしい。」ときらやか銀行新庄支店長の渡邊 悟さんは話していました。



### 教育功労者表彰式

2月17日、平成25年度の教育功労者表彰式が中央公民館で行われ、受賞者一人ひとりに太田二三男教育委員長から表彰状が手渡されました。

この表彰は、町の教育・芸術・文化の向上と発展に貢献のあった方を対象に贈られるもので、今年度は14名の個人と1団体が受賞されました。



### 「たこ焼きマントマン」参上！

2月14日、ほほえみ保育園で食育に関する「劇」と「紙芝居」が行われました。これは、食生活改善推進協議会(会長沼澤紀美子さん)が、子どもたちに小さいうちから食に対する正しい知識と食習慣の大切さを学んで欲しいと実施しているものです。

劇では、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、ピンクの戦隊「たこ焼きマントマン」5名が「しょうが ぷっくん パンチ」など、それぞれ食材の特徴を活かした必殺技を繰り出し、風邪をひかせる悪者「ボン・ゴホン」を倒すといった内容で、園児たちは楽しく食べ物の大切さなどを学びました。



### 今月のかもしかクラブ

2月13日、今年度の最後の「かもしかクラブ」が、ほほえみ保育園で開催されました。この日は今まで教わった、交通安全や家の周りの危険なこと、やってはいけないことなどの〇×クイズを解きながら「おさらい」をしました。

このかもしかクラブは、子どもたちが交通事故に遭わないよう、また、将来立派な交通社会の一員になるように楽しく活動しています。町の交通安全指導員も子どもが楽しく交通ルールを覚えられるようお手伝いしています。



### 先を読む！

2月11日、恒例の舟形町囲碁・将棋大会が開催され、囲碁の部44名、将棋の部36名が参加。実力別のブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。

また、今回初めて開催されたオセロ大会には、小学生以下の子どもたち16名が参加し、白と黒のシーソーゲームに一喜一憂していました。



### ご当地キャラサミットin新庄雪まつり

2月9日、第43回新庄雪まつりが最上公園一帯(新庄市)で行われ、その中で開催された「新庄もがみご当地キャラサミット～総選挙～」に舟形町のゆるキャラ「めがみちゃん」が参加しました。各市町村から集まったご当地キャラクターの中で、めがみちゃんは「かわいいで賞」を受賞しました。



### 1日体験入学

2月5日、舟形小学校で1日体験入学が行われ、4月から舟形小学校に入学予定の親子が参加しました。1年生による学校紹介などが行われ、学校で教わることや楽しいところなどを発表してくれました。学校紹介終了後には、1年生教室で2クラスに分かれて、音楽や図工の授業を体験。その間、保護者の方々は、学校や教育委員会から入学に向けての説明を受けました。



### 「鬼は～外！福は～内！」

2月3日、子育て支援センター「みらい」でふれあい育児の広場を行いました。節分にちなみ、鬼の面や手さげバッグの制作と豆まきをしました。

また、同日、ほほえみ保育園でも「節分の豆まき」が行われ、お遊戯室には、クラス毎に違うデザインの面をつけた子どもの鬼たちが集まりました。豆まき役の福男が豆をまき、子どもたちの中にすんでいる「泣き虫」鬼・「いじわる」鬼などを退治しました。



### 雪かきボランティア「除雪し隊」

2月2日、県の除雪ボランティア「やまがた除雪志隊」に登録している11名の方が、地域住民と一緒に町内の一人暮らし高齢者世帯の除雪を行いました。今回は、長者原と一の関、長沢第1の計3軒の雪下しと雪かきをしました。参加者の中には、全国を回ってボランティア活動をしている方もいらっしゃり、安全に配慮した手ぎわよい雪降ろし作業を行いました。



### 自己新記録を目指して

2月2日、舟形小学校で統合後初めてのスキー大会を開催しました。児童たちは、小雨交じりの悪天候にも負けず、地域のみなさんからのたくさんの声援を力に、河岸段丘の特徴を活かした起伏のあるコースを、自己記録更新を目指し力走しました。



### ピアノに合わせ大合唱♪

1月31日、昔なつかしの歌をピアノに合わせて合唱する「歌声ひろば」が農村環境改善センターで開催され、町民の方59名が参加しました。参加者は「コールせせらぎ」のリードとピアノ伴奏で16曲を合唱。外の大雪とは対照的に、参加者は身も心も温かくなりました。これは、町民の方が交流して楽しめる場を作りたいと舟形町地域おこし協力隊が企画し、もがみ南部商工会舟形事務所や掘内町内会など各団体から協力を得て実施したものです。



### 平成25年度立志式

1月31日、元服にちなんで数え年の十五歳を祝う「立志式」が舟形中学校で行われました。2年生40名が「将来に向けての決意」を込めた漢字一字を色紙に記し、家族や後輩たちが見守る中、舞台上で発表しました。「勇」の字を書いた岡崎佳林さん(福寿野)は、「大好きな母と同じ高校に行きたい。でも、母を超えたい気持ちもあるので、山形市内の学校に進みたい。」と決意を発表しました。



### めがみちゃんにお友だちが会いにきたよ～

1月29日、蔵王温泉スキー場マスコットキャラクター「じゅっきーくん」がめがみちゃんに会いに来ました。これは、県内各地を訪問し、今月21日から蔵王スキー場で開催される樹氷国体をPRするものです。じゅっきーくんは、平成4年に山形県で開催されたていねいな国体のマスコットキャラクター「たいきくん」と蔵王温泉観光協会のマスコットキャラクター「むひょこちゃん」との間に生まれた子どもの“ゆるキャラ”です。

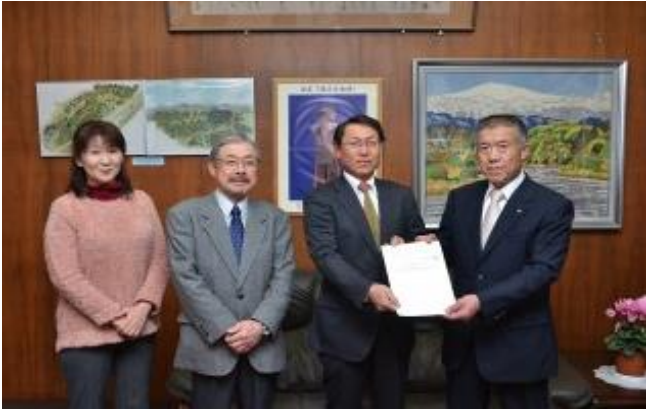
▼じゅっきーくん 樹氷家族日記 / <http://ameblo.jp/jukkiikun/>



### "和楽"活動中

1月28日、長沢和紙保存会「和楽」が舟形焼きわかあゆ薫風窯で和紙づくりを行いました。この日は、長沢和紙と押し花などとのコラボレーションが検討されました。ハガキや名刺サイズの和紙に、押し花をちりばめて漉きこむ方法で試作を重ね、商品化に向けての課題などを話し合いました。「これからも、町の特産品とコラボした新しい長沢和紙の良さを発信していきたい」と和楽の神山さんが話してくれました。





### 建議書を提出

1月27日、まちづくり審議会(会長 伊藤欽一さん)が平成25年度の建議書を町へ提出しました。今回の建議書は、再生可能エネルギー政策の充実、定住・空き家政策、公共交通政策など、平成25年度主要施策に対する意見や今後の取り組んで欲しい政策提案などとなっています。これは、町民と町が協力して進める協働のまちづくりと町民の声を活かした政策推進を図るため、12名の審議委員が計4回の審議会を行い作成されたものです。



### 雪かき応援隊出動！

1月25～26日、富田地区の高齢者世帯に雪かき応援隊14名が駆けつけました。自分で家の周りの除雪ができない家庭の力になっていただきたいと舟形町地域おこし協力隊と山形県が計画し、首都圏等から応援隊を募って実施されたものです。参加者の中には、昨年に引き続き参加された方もいらっしゃいました。地域の方から除雪道具の使い方等について指導を受け、軒先まで積もった雪を窓が出るまで掘り下げました。安心安全な雪国での暮らしのために、ご協力ありがとうございました。



### 恋の胸さわぎ2014winter

1月25日、舟形町婚活事業「恋の胸さわぎ2014winter」が新庄市内で開催され、独身の男性12名女性7名計19名が参加しました。終始和やかな雰囲気の中、フィーリングの合った2組がカップルとなりました。これは、町の委託を受けたがみ南部商工会青年部舟形支部の毎年恒例の企画です。このような取組みを通して、多くの出会いが生まれ、結婚したい方ができるようにすることで、一人ひとりが幸せを実感できる「元気な舟形町」を目指しています。



### 息を合わせてジャンプ！

1月19日、第27回新春町民なわとび大会がB&G海洋センターで行われ、26チーム、391名が参加しました。冬期間の運動不足の解消と健康づくりを目的としたこの大会も27回目を迎えました。参加チームそれぞれが息を合わせてジャンプ。団体・個人の部で競技が行われ、体力の限界に挑戦し清々しい汗を流しました。



### 舟形町議会活性化特別委員会

1月16日、舟形町議会と舟形町民生児童委員協議会が中央公民館で意見交換会を行いました。これは、舟形町議会活性化特別委員会が町の福祉課題などを聞き、議会と民生児童委員が共通理解を持ってその対策と解決に役立てられるようにと、初めて開催したものです。会の中で民生児童委員5名からの事例提供と意見交換を行いました。今後の福祉のまちづくりに活かされていきます。



### 県知事ほのぼの訪問

1月15日、吉村美栄子県知事が県民の声を活かした県政を推進するために行なっている「知事のほのぼの訪問」で舟形町を訪れました。まちづくり研究団体「Tmプロジェクト」と青年団体「FITS」のメンバーが町屋「き乃川」で地域資源の継承などについて知事と意見交換を行いました。「地域資源を活用し、町民のみなさんと一緒に楽しめる活動をこれからも続けていって欲しい。」と吉村知事は話していました。



### 無病息災を祈願

1月12日、大平町内会で伝統行事「御柴灯」が行われ、町内会のみなさん約35名が参加。古くなったお札やお守りなどを燃やし、今年1年の無病息災を祈願しました。

「御柴灯」は年末からこの時期にかけて、各地区で行われている伝統行事です。





### 人命救助の3名に感謝状

1月10日、最上広域消防長から3名の方に感謝状が贈られました。今回、感謝状が贈られたのは、伊藤賢一さん(舟形第3:左)と沼澤伸一さん(舟形第3:中)、伊藤健一さん(野:右)です。3人は12月14日に発生した舟形第3地内での火災の際に、自らの危険を顧みず、まだ家の中に残されていた高齢者夫婦の救助にあたりました。



### 五穀豊穰を祈願その②

1月10日、舟形ほほえみ保育園で、「水木団子」の飾り付けを行いました。これは、五穀豊穰を祈る小正月の伝統行事を子どもたちにも体験してもらおうと、舟形町老人クラブ連合会(会長大場和夫さん)が毎年行なっているものです。色とりどりの団子や園児たちの願い事が書かれた飾りなどをおじいちゃん、おばあちゃんたちと水木に下げました。



### 五穀豊穰を祈願

1月8日、ふれあい育児の広場が子育て支援センターみらいで行われ、入園前の子どもとお母さん方10組20名が交流しました。今回は「水木団子かざり」に挑戦。水木に団子を刺し、縁起のよい鯛などを型どった飾りをさげました。



### 無事故・無火災と祈願

1月5日、町消防の安全祈願祭が町中央公民館で行われ、今年一年の無事故・無火災を祈願しました。出初式では、加藤憲彦団長、奥山知雄町長のあいさつの後、舟形本町通りで分列行進と祝賀放水を行いました。

私たち一人ひとりが防火意識を高め、安心・安全な町になるよう努力しましょう。



### 世界に一つしかないしめ飾り

12月20日から25日までの3日間、町内3会場でしめ飾り作り教室が行われました。これは、町传统文化の継承を目的に町教育委員会が開催しているものです。25日には中央公民館で開催され25名が参加。しめ縄から飾り付けまですべて自分で作成する、世界に一つしかないしめ飾りが出来上がりました。



### 飲酒運転撲滅作戦

12月24日、舟形町交通安全対策協議会が舟形橋パーキングで「飲酒運転撲滅立哨運動」を行いました。悪天候の中、交通安全対策推進協議会や交通安全協会舟形支部、交通安全協会母の会、舟形町内の駐在所のみなさんが、今後絶対に飲酒運転を「出さない・させない・許さない」を合言葉に、飲酒運転撲滅を呼びかけました。



### 大型模型完成&お披露目

11月19日から毎週火曜日に行われていた「縄文の女神大型模型作り」が12月17日に最終日を迎え、完成した大型模型がお披露目されました。国宝「縄文の女神」の5倍の大きさとなって誕生した大型模型は、同日、舟形町に引渡されました。町では、2月末に完成予定の舟形町観光物産センターなどに展示し、縄文の女神を広くPRするために活用していく予定です。



### 手作りおもちゃ教室

12月14日、少年少女手作りおもちゃ教室が中央公民館で開催され、子どもたち11名とボランティアの方3名が参加。1回目の今回は、わりばしと輪ゴムを使った「わりばしゴム鉄砲」などを作りました。カッターでわりばしを削るなど家ではなかなか経験できない作業に、ボランティアの方からご指導を受け、おもちゃ作りを楽しみました。この教室は、3月8日まで計4回開催されます。



### ほほえみ保育園発表会

12月14日、舟形ほほえみ保育園で発表会を開催しました。園児たちは華やかな衣装を身にまとい、一生懸命覚えた歌やダンスを大勢の観客の前で披露しました。また、会の終わりには未来戦士「スマイルマン」ショーも行われ、笑顔いっぱいの楽しい発表会となりました。



### 振込め詐欺撲滅運動

12月13日、舟形町防犯協会が振込め詐欺撲滅運動を実施。「被害に遭わないように」と舟形町内の金融機関前で、チラシなどを配り啓発を行いました。また、交通安全協会舟形支部も交通安全を呼びかけました。



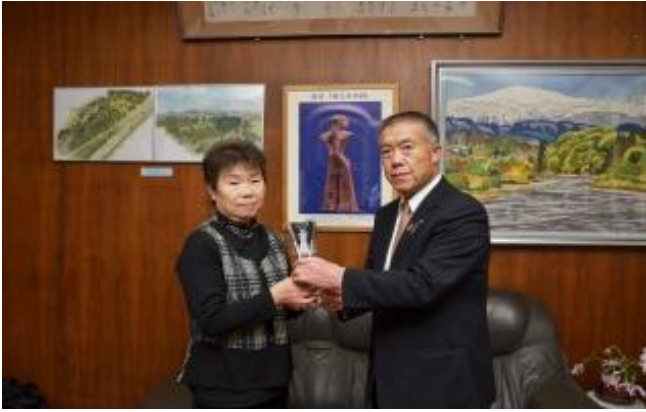
### 舟形小学校に太陽光発電設備を設置

舟形小学校の体育館壁面(西側)に、町の施設としては初めてとなる太陽光発電設備(約11KW)を設置し、12月12日から稼働開始しました。発電した電気は全て小学校で使われます。発電状況を見ることができる液晶モニターも小学校の廊下に設置され、児童たちも電気の発電量を観察できるなど、再生可能エネルギーを身近に感じることができます。



### 地元の暮らしに安心・安全を

12月8日、舟形町冬季消防ポンプ性能検査を行いました。これは、いつ起きるかわからない災害に備え、管理する設備を常に使用できる状態に保てるように、毎年実施しているものです。このような消防団による日頃の取り組みが、町民の暮らしの安心・安全につながっていきます。



### 物産センター愛称決定

リニューアルされる舟形町観光物産センター(舟形駅)の愛称を募集したところ、23点の応募がありました。その数あるすばらしいアイデアの中から1点が選ばれました。愛称に選ばれた阿部清子さん(舟形第3)に12月6日、奥山町長から記念品が贈られました。

愛称「舟形町観光物産センター めがみ」



### 男性のための料理教室

12月6日、男性のための料理教室が保健センターで行われ、舟形の男性16名が参加しました。食生活改善推進員の方から指導を受け、中華丼作りに挑戦しました。参加者の一人は「今度、家族に作って食べさせたい。」と笑顔で話してくれました。



### 舟形の花嫁第1号

12月3日、「舟形の花嫁 お見合い大作戦」に参加し、カップルとなった伊藤浩さん(内山)と恵美さん(神奈川県)が入籍し、奥山町長に報告に訪れました。恵美さんはこの婚活イベント初の花嫁になりました。

おめでとうございます。



### 光のしずく

12月1日、地域密着型複合施設ほなみの敷地内に設置したイルミネーション「光のしずくタワー」の点灯式が行われました。地域を明るく照らすシンボルにと、昨年から行われており、1月10日まで楽しむことができます。

## Old Kyu News(平成25年12月)



### 園芸作物栽培セミナー

12月1日、中央公民館で舟形町園芸作物栽培セミナーが開催され、67名が参加されました。県農業技術普及課及び産地研究室によるわらびの栽培法や冬期促成物の研究発表、活気あふれる農業推進機構の悪七顧問による若芽にんにくの栽培法が紹介されました。

また、作物別相談会では、生産者団体の方々と新規栽培希望者による熱心な意見交換も行われました。

## Old Kyu News(平成25年11月)



### 元気ハツラツ！高齢者フェスティバル

11月27日、舟形町高齢者フェスティバルが舟形町中央公民館で開催されました。舟形町老人クラブ連合会が主催するこの催しには、老人クラブの方々から約250名が参加。合唱や踊りなどを披露しました。中でも平均年齢82歳の舟形老人クラブ7名による舟形に伝わる昔話を演劇にしているの披露には、観客のみなさんからひととき大きな拍手が送られていました。「どんびん すかんこ ないっけど...」



### 鴨汁が学校給食に

11月26日、舟形小学校の給食に鴨汁が提供されました。これは山形第一農場(太折)で自然に近い環境で育てられ、主に都会のフレンチレストランなどで使われている鴨で、舟形小学校の児童たちに食べてほしいという生産者の庄司太郎さん(西堀)のご厚意で実現したものです。食べた児童たちはおいしい鴨肉に笑顔を浮かべていました。

今回の鴨は「まがも」という種類で、味も良く栄養価も高い鴨肉です。寒くなってくると脂がのりおいしくなる季節で、11月から1月末まで全国各地に出荷されるそうです。



### 冬の雪道の安全を確保

11月22日、町道の除雪作業の安全と事故防止を願う安全祈願祭を十二河原河川公園で行いました。会場には、大型のロータリ除雪車やホイールローダなど合わせて13台がずらりと並び、町関係者や運転手ら約30名が参加し、安全を祈願しました。

除雪計画路線図については、広報ふながた「お知らせ版」11月22日号をご覧ください。



### 県教育功労表彰

11月21日、舟形町教育委員を今年3月31日付けで退任された大場輝美さん(長沢第2)が、山形県教育功労表彰を受賞されました。これは、19年間にわたって舟形町教育委員会委員として教育行政の推進と教育の振興にご尽力された功績が認められての受章です。

長い間、ありがとうございました。



### ヨガ教室

11月21日、舟形町中央公民館で「ヨガ教室」を開催し、21名が参加されました。ヨガは「ポーズ」「呼吸法」「瞑想」などの要素を取り入れ、体のバランスを整えるために行います。「きちんとした呼吸法をすることで、正しい姿勢が身に付き、ダイエットにも効果があることを学びました。これからも続けていきたいです。」と参加者の一人は話してくれました。

この教室は12月12日までの毎週木曜日に開催します。



### 縄文の女神大型模型をつくろう！

11月19日、縄文の女神大型模型作りを舟形町中央公民館で開催し、申し込んだ町民の方9名が参加されました。参加者は、3つの工程(①プロジェクターで厚さ25ミリの断熱材に断面図を映し出し、線に沿ってマジックでなぞる②その線に沿って小型ノコギリで型を切り抜く③型抜きしたものをボンドで貼り合わせる)に分かれ、それぞれ作業を行いました。断面図は東北芸術工科大の3Dスキャナーで読み取ったものです。

出来上がると11月18日から新庄駅(ゆめりあ)に常設展示されているものと同じ、本物の5倍の大きさの大型模型になります。





## 「しごとば」をみよう！

11月17日、講師に「しごとば」でお馴染みの鈴木のりたけ氏をお迎えし、絵本講演会を舟形町中央公民館で開催しました。読み聞かせに興味のある親子など約80名が参加しました。代表作である「しごとば」に登場する職業の制服に着替えての講話や絵書き歌など、みんなが参加しての楽しい時間となりました。



## イクメンになろう！

11月15日、舟形小学校PTA家庭教育講演会が同校ランチルームで開催され、同校PTAなど約100名が参加しました。講師には、神戸常盤大学准教授の小崎恭弘氏を迎え、「パパの子育て・家族の子育て」と題して、保育士時代の経験談や父親としての体験談を交えてお話していただきました。

なお、この講演会は、最上地域男女共同参画講座の一環として行われました。



## ふながた家族新聞コンクール表彰式

11月14日、第9回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が舟形町中央公民館で行われました。家族の絆づくりと考え表現する力を身に付けてもらおうと町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所が毎年開催しているものです。



## じんけんってな～に？

11月14日、最上地区人権講演会が舟形小学校体育館で開催され、小学校の児童と祖父母のみなさんなどが参加しました。講師には、スリランカ出身の羽衣国際大学准教授の「にしゃんた」氏を迎え、「じんけんってな～に？」という演題で、ユーモアたっぷりに分かりやすく講話していただきました。新庄人権啓発活動地域ネットワーク協議会が主催したものです。



### 「まち」の様子を見学

11月13日、舟形ほほえみ保育園の年少児のみなさんが、舟形町役場を見学にやってきました。保健センターで、健康介護班や企画調整班の仕事の内容を聞いた園児たち。「みなさん、お仕事がんばってください」の言葉に、職員が元気をもらっていたようでした。



### 空からの白い贈り物？

11月12日、冬の到来を告げる空からの贈り物、「雪」が降ってきました。初雪となったこの日は、子どもたちが作った雪だるまがあちらこちらの家で見られます。雪は、おいしいお米を作るための大切な水に変わり農家に恵みを与えますが、反面、除雪や雪降ろしなど対応に追われます。

今年は、どのくらい降るのでしょうか…。多いのか少ないのか、とても気になるところです。



### 打ちたての新そばに舌鼓

11月10日、ふながた新そば味覚まつりが生涯学習センターで開催されました。来場した175名の方は、蕎舟会の香り豊かな新そばや郷土料理、舟形若あゆ温泉で新発売の鮎をパンでサンドした「あ！湯ドック」などに、舌鼓を打ちました。



### 防火キャラバン隊

11月9日、秋季火災予防運動(11月9日～15日)に合わせ、舟形町消防団が防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。みなさんで火災予防に対する意識を持ち、火災「0(ゼロ)」を目指しましょう。

2013年度標語 「消すまでは 心の警報 ONのまま」



### おいしいおやつ、できたよ♪

11月7日、舟形町保健センターで今年度9回目のふれあい育児の広場を開催しました。親子など12組28人が参加したこの日は、ひじき入りの蒸しパン作り。子どもたちも材料を混ぜ合わせたりするなど、おうちの方と一緒に楽しく料理をしました。出来上がった蒸しパンを食べた子どもたちは、「おいしい～」と満面の笑みを浮かべていました。



### 瑞宝単光章

11月6日、平成25年「秋の叙勲・褒章」の県知事伝達式が行われ、沼澤喜一さん(一の関)が瑞宝単光章を受賞されました。

沼澤さんは、昭和44年に舟形町消防団に入団して以来、温厚誠実、人情厚く団員からの人望を集め、平成4年から約12年間、舟形町消防団副団長を務められました。在任期間中の女性消防団の設立や舟形町消防団の活性化、安全な町づくりにご尽力された功績が認められての受章となりました。



### 伝統文化の継承

11月5日、わら細工・わら工芸交流会を生涯学習センターで開催しました。町民の方11名が参加し、伝統文化の継承と世代間の交流を図りました。

この交流会は平成26年3月末まで毎週火曜日に開催されます。



### 芸術の秋

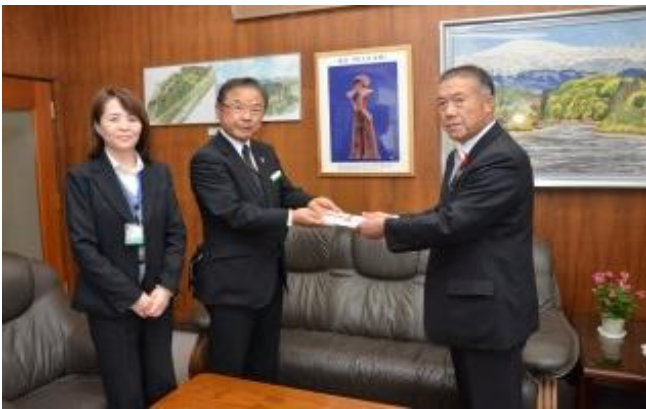
11月3日、舟形町中央公民館を会場に、舟形町芸能フェスティバルを開催しました。披露された踊り、歌、詩吟、三味線などに約300名の観客から大きな拍手が送られました。

また、11月8日～14日の7日間、同会場にて舟形町総合文化展が開催され、手芸品や絵画、俳句など作品576点が展示され、訪れた方々を魅了しました。



### 今季最終戦で力試し

11月2日、B&G会長杯争奪大会野球競技が舟形中学校グラウンドと堀内農村環境改善センターグラウンドを会場に、最上地区内から7チームを招待して行われました。町外チームを招待しての開催は今年で2年目(去年は雷雨により中止のため今年が初めて)となり、一年を締めくくる大会です。観戦していた方々は、自分たちの力を発揮しようと一生懸命プレーしている子どもたちの姿と、舟形ビッグサンダーズ保護者によって振る舞われたホットレモンに心も体も温まりました。



### 県民ゴルフ場開場記念チャリティ

11月1日、県民ゴルフ場(支配人 大場武志さん)が、チャリティ募金によって集まった35,100円を舟形町に寄付しました。これは10月14日に開催した県民ゴルフ場開場記念(10月10日)の企画に参加した210名の方から募金いただいたものです。



### 平成25年度自治功労表彰

11月1日、舟形町自治功労表彰式を舟形町役場で行いました。この表彰は、地方自治の振興、産業・経済の発展、学術・文化振興などに貢献された個人や団体を対象に授与される町で最も名誉ある賞です。

今回は、町内会長や寄付行為により功績のあった方などが、栄えある受賞となりました。



### 明るい舟形町の未来のために

10月30日、第4回舟形町中学生模擬議会が舟形町議場で開催されました。舟形中学校の3年生50名が議員と傍聴者として参加し、普段の生活で感じている疑問や改善点などを質問し、提言を行いました。これは、舟形町議会と舟形中学校が、地方自治における議会の役割とまちづくりに参加する楽しさを知ってもらおうと開催したものです。



### リンゴの花が咲きました

10月29日、舟形若あゆ温泉の果樹園にあるリンゴの木が、今年2度目となる白くてきれいな花を咲かせました。本来は1年に1度しか花を咲かせないリンゴの木ですが、稀に急激な寒暖の差によって、春が来たと勘違いして咲いてしまうことがあるそうです。



### カーブミラーで安全な街に

10月28日、全国共済農業協同組合連合会山形県支部がカーブミラー4基を町に寄贈しました。これは、町の交通安全に役立ててほしいと毎年贈っているもので、町内各地の危険な個所に設置される予定です。交通安全のため、大切に使用させていただきます。



### 小・中学校で文化祭

10月26日、舟形中学校で舟友祭が行われました。「未来へ～伝えたい想いを旋律(メロディ)にのせて～」をテーマに合唱コンクールが行われ、会場は美しいハーモニーに包まれました。

また、27日には、舟形小学校で「めがみDreamフェスタ」学習発表会が行われました。観客からはミュージカルなど迫真の演技や歌声に大きな拍手が送られました。





### 「災害」に備えて

10月26日、舟形町総合防災訓練が長沢地区を会場に行われました。

今回の訓練は、強い地震による火災の発生を想定としたもので、情報の伝達や消防ポンプ車の出動、正確かつ迅速な操法、地区住民の避難誘導訓練、消火器を使用しての初期消火訓練などを行いました。



### 鮭が戻ってきた「よう」

今年も小国川に鮭が遡上してきました。小国川漁業協同組合(組合長 沼澤勝善さん)では、舟形町富田地区にある小国川(最上川合流点から上流800m地点)で川幅いっぱいの“止め”を作り、「ウライ」と呼ばれる仕掛けで鮭を捕獲。捕まえた鮭から採卵・受精させ、来年の春に稚魚を放流する取り組みを行なっています。また、10月19日～11月10日まで間、有効利用釣獲調査として「鮭釣り」をすることもできます。希望される方は事前に申込みが必要です。

詳しくは小国川漁業協同組合ホームページ



### スポーツで「いい汗 いい顔 いい仲間」

10月13日、第21回舟形町スポーツフェスティバルが開催されました。町民の方352名が、町内に準備された各会場に分かれて、ソフトボールやグラウンドゴルフなど10種目の競技で良い汗を流し、交流を深めました。



### 米寿のお祝い

10月10日、数えて88歳を迎えた大正15年生まれの68名の方に、米寿のお祝いが行われました。

一人ひとりのお宅を奥山知雄町長が訪問し、永年のご功績に対して感謝の言葉を申しあげると、みなさんにこやかに記念の賀詞とお祝いの品を受け取られていました。

米寿を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。これからも、健やかでいらっしゃいますようお祈りいたします。



### 郷土を護る消防団

10月9日、舟形町消防団本部付分団長の渡部広行さん(幅)が「郷土を護る消防団員表彰」を受賞しました。この賞は、地域の安心と安全を守るために献身的に、消防活動に尽力された功績を讃えて、山形県消防協会(会長渡邊茂治氏)から表彰されたものです。



### 夜光反射材で自分を守ろう!

10月8日、高齢者の交通事故防止推進強化月間に合わせ、夜光反射材直接貼付活動キャンペーンを実施しました。町内の金融機関などの前で、反射材とチラシを配り交通安全を呼びかけました。

これからの時期は夕暮れも早くなります。日頃から反射材をつけて、交通事故から自分を守りましょう。



### 市町村親善ゴルフ大会

10月6日、市町村親善ゴルフ大会が県民ゴルフ場で開催され、最上地区のゴルファー90名が参加し、熱い戦いを繰り広げました。舟形町からは20名が参加し、一般の部、シニア・レディースの部、市町村対抗の部で見事1位の栄冠に輝きました。



### 「メイド イン ふながた」が店頭に

10月4日にオープンしたヨークベニマル新庄下田店に「山形県産の元気な野菜」コーナーが設けられ、舟形町チャレンジ農業実践塾の塾生が丹精込めて育てた地場野菜が並びました。中には、ジャムとして食べるとおいしいハックルベリーなど市場に流通しにくい野菜・果物も置かれ、そこでしか買えないものとして注目を集め、販売額の増加も期待されています。また、(有)舟形食彩工房の漬物やお惣菜コーナーもあり、舟形の昔ながらの味も売られています。



### 舟形小学校で稲刈り体験

10月3日、舟形小学校の5年生52名が学校の近くにある学校田の稲刈りをしました。

児童たちは長い穂をつけた稲を慣れない手つきながらも、稲刈り鎌を使い一生懸命刈り取りました。刈り取った稲は、田んぼ脇のフェンスに「はせ掛け」をして自然乾燥させました。



### 五橋中 秋の収穫を体験

10月2日、仙台市立五橋中学校2年生の代表6名が、稲刈り体験を行うために舟形町を訪れました。生徒たちは鎌を使った手刈りと稲を束ねての「杭掛け」に挑戦しました。今回の体験は、5月15日に野外活動の一環で田植え体験をした沖の原地区の学習田で行われ、管理してくださった佐藤勇さんから指導を受けました。

収穫した米は、約3kgに袋詰めして、11月12日の五橋中収穫感謝祭で生徒一人ひとりにお渡しします。



### さつま芋 掘ったぞ～(^O^)/

10月2日、ほほえみ保育園の年長児たちが、保育園脇にある畑でさつま芋掘りを行いました。園児たちは芋のつるのつけ根を素手で掘っていき、土の中から顔を出した自分の顔よりも大きなさつま芋に「見て！見て！こんな大きなさつまいもがとれたよお～」と喜びの声をあげていました。秋の恵みに感謝。





### 食育アドバイザーを目指して

9月30日、食生活改善推進員養成講座が保健センターで開催され、ヘルスメイトとして食事アドバイザーを目指す14名の方が参加しました。計4回の講座のうちの2回目となった今回は、鶏肉と水菜、そばを使ったヘルシー料理の調理実習を行いました。

受講者の一人は「脂質を摂り過ぎない、バランスの良い食事の調理方法を聞いて勉強になります。」と話してくれました。



### ナイス ショット！

9月29日、第9回町民ゴルフ大会が県民ゴルフ場で行われ、町内の方44名が参加しました。この大会はチャリティコンペも兼ねており、集まった募金30,000円を舟形町社会福祉協議会へ寄付しました。



### 里山合宿in舟形町で稲刈り体験

9月21～23日、里山合宿in舟形町が行われ、東京などの首都圏から訪れた11名が稲刈りなどの農業体験をしました。たくさんの穂を実らせた稲は、5月の里山合宿の時に手で植えた「ヒメノモチ」です。刈り取りは慣れない鎌に四苦八苦。地元の方々から指導してもらいながら、怪我をしないようにと細心の注意を払って作業をしました。刈り取った稲を、田に刺した杭に互い違いにかけていく「杭掛け」により自然乾燥させる、昔ながらの方法を体験しました。



### 手軽にアートを楽しもう！

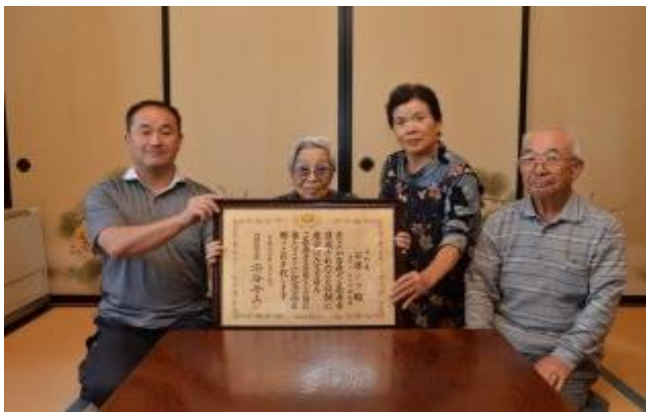
9月21日、町中央公民館で色えんぴつ講座が開催され、町内の13名が参加しました。自分だけのアートを手軽に描くことができる色えんぴつ。「描く人の感性によっていろいろな表現ができ、えんぴつの使い方によって作品の印象が変わるところが奥が深い。」と受講者の一人は話してくれました。

なお、講師は地域おこし協力隊の神山佳奈枝さんで、計5回開催する予定です。



### スポーツを通じた地域づくり

9月20日、舟形町体育協会主催のスポーツ講演会が中央公民館で開催され、舟形町のスポーツ少年団等の指導者など31名が参加しました。講師には、フェンシングでアテネオリンピック、北京オリンピックに日本代表として出場した池田めぐみさん(南陽市出身:山形県体育協会)を迎え、「スポーツを通じた地域づくり」と題して講演いただきました。自分の体験談を交えた内容でスポーツ選手の心構えなどを聞くことができ、大変有意義な講演会となりました。



### 満100歳をお祝いして

9月18日、10月に満100歳を迎える安藤ノフさん(舟形第4)に、最上総合支庁保健福祉環境部長より内閣総理大臣からの賀詞と銀杯が贈られました。

今年県内では、545名、最上地区では29名の方が満100歳を迎えられます。安藤さんはここ数年足腰が弱ってきたものの、体調は良好で元気に毎日をお過ごしです。益々のご長寿をお祈りします。



### ほほえみ保育園運動会

9月14日、秋晴れの下、ほほえみ保育園運動会が開催されました。園児たちは徒競争や親子競技、リレーなどの競技を一生懸命頑張りました。会場の舟形小学校グラウンドには、たくさんの声援と笑顔があふれました。



### 自己記録更新を目指して

9月13日、秋晴れの下、校内マラソン記録会が舟形小学校で行われました。1・2年生は800m、3～6年生は1,000mを力走。家族の方など多くの観客から声援を受け、自己記録更新を目指して一生懸命走りました。



### 若あゆ温泉20周年記念式典

9月20日、開湯20周年を迎えた舟形若あゆ温泉で記念式典が行われ、歴代の代表取締役社長や支配人などが出席し、20年間の歴史を振り返りました。



### えんじゅ荘で敬老会

9月13日、特別養護老人ホームえんじゅ荘で敬老祝賀会が行われ、百寿1名、米寿6名、喜寿2名の利用者の方に賀詞と祝品が贈られました。

アトラクションとして、舟形町民謡愛好会の民謡が披露され、みんなでお祝いしました。



### 300万人突破！

先月23日に開湯20周年を迎えた舟形若あゆ温泉が9月10日、入湯者数300万人を突破しました。

300万人目の入湯者となった石山トキさん(富田第2)は「17年間、毎日来ています。ここのお湯に入ると膝の痛みがやわらぎます。これからも毎日来たいです。」と話してくれました。



### 新しい特産品がお披露目

9月7日、第33回ふながた若鮎まつりの会場で、新商品「ラズベリー梅酒」の発表会が行われました。これは、楯の川酒造(株)と共同開発により造られ、東北芸術工科大学の川越千奈美さんが首飾りをデザインしたものです。11月頃から全国で販売されます。舟形の新しい特産品をご賞味ください。



### 第33回ふながた若鮎まつり

9月7～8日、アユパークを会場に「第33回ふながた若鮎まつり」が開催され、約25,000人のお客様が「舟形町」を訪れ、おまつりを楽しみました。特別価格250円で提供された鮎(約18,000匹)や芋煮など、舟形町の秋の味覚が勢ぞろいしました。さらに、ステージエリアでは、芸能文化協会の発表会やワッショイパレード、テツ&トモ爆笑ライブ、朝倉さやさんと竹川美子さんの歌謡ショーなどが行われ、笑顔あふれる元気いっぱいのおまつりとなりました。



### 若鮎まつりTシャツ議会

9月6日、9月の定例議会で町会議員全員が9月7～8日に開催される「第33回若鮎まつり」をPRするため、若鮎まつりTシャツを着用しました。



### ソフトテニス体験教室

9月4日、ソフトテニス体験教室が舟形若あゆ温泉テニスコートで行われ、町内の小学生を中心に16名が参加。子どもたちのスポーツにたくさんの選択肢をと町テニス協会が今年から行なったものです。



### 大人も変われば子どもも変わる

9月3日、町青少年育成町民会議総会が「地域ぐるみ、みんなで伸ばそう！ふながたの子ども」のスローガンのもと町中央公民館で開催され、60名が参加しました。事業計画などを確認したほか、「花いっぱいコンクール」優秀賞の幅町内会、優良賞の長沢第1町内会と富田連合町内会が表彰されました。

また、町PTA連絡協議会との合同研修会では、元金山小学校校長阿久津隼人さんから「子どもの自立について」と題して講演をいただきました。



### 若あゆオープンテニス大会

第33回新庄オープンテニス秋季大会(兼第18回舟形若あゆオープンテニス大会)が舟形若あゆ温泉テニスコートを会場に開催され、61名がエントリー。男女シングルス、男女ダブルスの競技で、優勝目指し熱い戦いを繰り広げられました。



### こぶしの里案内人が歴史を紹介

9月1日、舟形町観光ボランティアガイド協会(会長石川孝夫さん)の会員3名が、舟形小学校6年生35名が企画した「三角点登山」に同行。富田地区にある「猿羽根楯」や県指定天然記念物「親杉」など、登山をしながら歴史や魅力を紹介しました。

また、町では西ノ前遺跡を案内できるボランティアガイドを養成する講座を開催し、訪れた方々に舟形の自然や文化を紹介できるように取り組んでいます。



### 見合って 見合って～ はっけよい！

8月24日、奉納さばね山相撲大会が猿羽根山相撲場で開かれ、舟形小学校の4～6年生男女合わせて128名が熱戦を繰り広げました。

この大会は猿羽根山地蔵尊に奉納する伝統行事で、約250年前に力自慢の男たちが相撲を取ったことが始まりとされており、昨年までは町内の4つの小学校の男子によって個人戦や団体戦を行なっていましたが、今年の4月に統合したことで、校内相撲大会として行う第1回大会となりました。



### 全国市町村教育委員会連合会表彰

8月22日、全国市町村教育委員会連合会表彰を受けた大場輝美さん(長沢第2)と伊藤孟さん(舟形第3)へ、太田二三男教育委員長から表彰状が伝達されました。これは、教育委員を8年以上勤務され、子どもたちの教育にご尽力された功績に対し表彰されるものです。

また、このお二人と平成24年度で退任された坂上洋さん(洲崎)に、山形県市町村教育委員会協議会会長から感謝状が贈られました。



### 成人式 in ふながた

8月14日、新成人56名を対象とした舟形町成人式が、母校の舟形中学校体育館を会場に開催されました。会場には42名の新成人が集い、恩師や旧友との再会を喜び合いました。

新成人を代表して、伊藤雅人さん(西堀)が「人生の大きな節目となる成人式。今まで支えてくれた方々に感謝し、これからはふるさとに貢献できるよう努力していきたい。」と誓いの言葉を述べました。



### 長沢子ども遊々塾

8月10日、長沢子ども遊々塾「河童遊び」が旧長沢小学校裏の小国川で行われ、長沢地区の小学生28名が参加しました。

本来は、長沢親和会や婦人会の協力のもと、世田谷区との夏季交流時に行うボート下りの練習を兼ねて行っていたコノ行事。長沢小学校としての児童交流は無くなってしまいましたが、子どもたちに川遊びの楽しさ、自然の素晴らしさを体験してもらおうと、今年も開催されたものです。



### おっきなスイカ、とったぞお～

8月8日、舟形ほほえみ保育園の畑で野菜の収穫作業が行われました。園児たちが春に蒔いた種や植えた苗が舟形の自然に育まれ、大きく成長。収穫されたジャガイモやトウモロコシ、スイカなどを給食でおいしくいただきます。



### 親子でお料理

8月8日、保健センターにおいてふれあい育児の広場が開催され、親子など12組29名が参加しました。今回のふれあいは「親子クッキング」。入園前の子もたちとお母さんたちがライスコロッケづくりを行い、自分で作ったライスコロッケをみんなでおいしくいただきました。



### ドライブマナーキャンペーン

8月8日、交通安全協会舟形支部と舟形町交通安全母の会が、国道13号線舟形橋パーキングにおいて、ドライブマナーキャンペーンを行い、帰省された方などへ交通ルールと安全運転を呼びかけました。



### 戦没者追悼式

8月7日、苛烈を極めた先の大戦から68年目を迎え、遺族ら約60名が参加のもと舟形町中央公民館で戦没者追悼式が行われました。

参加した遺族会の代表佐藤幸男さんは、慰霊棟に向かって今年あった出来事などを報告するとともに、戦没者の方々への追悼と世界平和を祈念する言葉を述べました。



### B&Gチャレンジレスキュー

8月7日、B&G海洋センターのプールで、海洋チャレンジレスキューが行われ、町内の小学生14名が水中でいろいろなゲームなどを行い、楽しみながら順位を競い合いました。



### 交通安全ゆとり号

8月6日、「交通安全ゆとり号」による安全運転適性診断が、舟形町生涯学習センターで開催されました。町内の老人クラブのメンバーをはじめ、36名の方が診断を受けました。



### 県ジュニア駅伝

8月4日、山形県ジュニア駅伝競走大会兼蔵王坊平クロスカントリー大会が蔵王高原坊平クロスカントリーコース(上山市)で開催されました。この日は気温が上がり、選手たちにとっては厳しいコンディション。駅伝競走の部では小中学生が起伏の激しい5区間でタスキを繋ぎ、男子23位、女子12位と健闘しました。クロスカントリーの部では、男子女子ともに3kmのコースで自己記録を更新しようと全力で頑張りました。





### きれいな町へ「ほなみ」ボランティア

8月4日、地域密着型福祉複合施設ほなみの職員16名がボランティア活動として、草刈りや清掃などを行いました。

これは、夏休みやお盆などで舟形町に帰省する方々を、きれいな環境でお迎えしたいと国道13号の舟形大橋から舟形パーキングまでの間で実施したものです。



### 縄文炎祭 ～つなぐ～

8月3～4日、縄文女神の丘で「縄文炎祭」が開催されました。地域おこし研究団体「Tmプロジェクト」と青年団体「FIT S」、西堀町内会などで構成される縄文炎祭実行委員会が主催しているものです。2回目となる今回のテーマ「つなぐ」のもと、土器や土偶の野焼き、縄文食の出店、縄文遊びなどに、町内外から約700名の方が訪れ楽しんでいました。夜には、キャンドルのやわらかい灯りに包まれながら、野焼きの炎を囲みつつ、想いおもいにゆっくりと流れる時間を過ごしていました。



### 西ノ前遺跡試掘調査現地説明会

7月22日から山形県と舟形町が行なっている西ノ前遺跡の試掘調査の成果を報告する「西ノ前遺跡試掘調査現地説明会」が、8月4日西ノ前遺跡で開催されました。

説明の中で山形県文化財・生涯学習課の長橋至さんは、「今回の調査結果を考古学的にさらに調べ、今後の遺跡整備を行う上で活用していきます。」と話しました。この説明会には、町内外から約100名の参加があり、実際の試掘現場に立ち入るなど有意義なものとなりました。



### 国宝土偶シンポジウム

8月4日、縄文土偶の魅力を語るシンポジウムが舟形町中央公民館で、コーディネーターに山形県埋蔵文化財センターの黒坂雅人さんを迎え開催されました。



### 「女神」と「ビーナス」の共演

西ノ前遺跡から出土し、国宝の指定を受けた土偶「縄文の女神」の里帰り展が、8月3～4日、舟形町中央公民館で開催されました。2年続けての開催となった今回は、長野県茅野市の棚畑遺跡出土の「縄文のビーナス」(レプリカ)と「縄文の女神」を同時に見ることができる貴重な機会となりました。「縄文のビーナス」は高さ27cmで丸みを帯びた腰回りが特徴で、容姿が異なる2体の国宝が1,404名の来場者を魅了しました。



### 青色回転灯で地域の安全を見守り

8月1日、舟形町防犯協会と交通安全協会舟形支部が地域安全キャラバンを行いました。それぞれの会員の車両に青色回転灯を付けたキャラバン隊を編成し、町内を巡回しました。



### 役場本庁舎耐震補強工事開始

8月1日、役場本庁舎の耐震補強工事に伴い、役場本庁舎への出入り口や課の場所が移動となりました。

工事期間中は工事による騒音など、みなさんにご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

【課などの移動】

企画調整班・健康介護班 → 保健センター

会計室 → まちづくり課フロア



### うど山斎場の駐車場工事が完了

7月31日、県道舟形大蔵線から舟形町・大蔵村共立うど山斎場に入る道路の舗装工事を含む外溝工事が完了しました。中庭の芝生の張替えや築山の整備、駐車場のラインを引き直しました。



### 最上総合支庁食堂「千起」で縄文定食

7月29日～8月2日、最上総合支庁の食堂「千起」で舟形産おかひじきとやまがた地鶏を使った縄文女神スペシャルランチが提供されました。

7月31日には、縄文の女神PRキャラクターのゆるキャラ「めがみちゃん」も応援にかけつけ、8月3日～4日に開催される「縄文炎祭」と「里帰り展」のPRも合わせて行いました。



### 目指せ 全国大会！

7月31日、琴福寿秀太さんが所属していた舟形相撲クラブの練習を見ようと、佐渡ヶ嶽親方(尾花沢市出身)が、舟形中学校相撲場を訪れました。

このクラブは、7月6日に庄内町余目相撲場で開催された学童相撲県大会で団体3位の成績を収め、東北大会出場を決めました。8月18日に岩手県八幡平で開催される東北大会に向けて、週3回の練習に励んでいます。



### 縄文クールビズ

7月29日、8月3日～4日に行われる縄文炎祭のPRとクールビズの推進を図るため、町職員全員が縄文炎祭Tシャツを着用しました。

【縄文炎祭 8月3日～4日】



### 「ドキドキ」発掘体験

7月27日、西ノ前遺跡で西ノ前遺跡発掘体験が行われ、子ども3名を含む25名が参加しました。これは、西ノ前遺跡の範囲を確認するための試掘調査期間中に、一般の方々が発掘作業を体験できるようにと、山形県教育委員会と舟形町教育委員会が計画したものです。参加者は、国宝「縄文の女神」級の土偶が出るのではないかと期待を胸に発掘を体験。予想をはるかに超える土器などの出土に、「ドキドキ」興奮の発掘体験となりました。



### えんじゅ荘夏まつり

7月26日、特別養護老人ホーム「えんじゅ荘」で夏まつりが開催されました。あいにくの天候により室内での開催となりましたが、利用者と家族の方々や来賓、地区の方などがカラオケ大会や踊り、模擬店などを楽しみました。

このまつりは、この地域の方々とたくさんのボランティアによって支えられています。ご協力ありがとうございました。



### まんさく店内改装

7月25日、産直まんさくの店内改装が行われました。これは、最上総合支庁農業技術普及課と産直まんさく、地域おこし協力隊が連携し、店内の商品の展示を見やすくするために、レイアウトなどをリニューアルしたものです。また、生産者の似顔絵を店内に貼るなど、安心安全と親しみやすい店内となりました。

現在は、ヒマワリの花や麦わら帽子などを装飾した夏らしい雰囲気ディスプレイとなっていますので、ぜひ足をお運びください。



### 景観案内看板設置

7月25日、舟形若あゆ温泉のテラスに設置された景観案内看板の除幕式が行われました。除幕には奥山知雄町長と同温泉の伊藤恵子支配人のほか、お客様も参加しました。これは、今年3月19日に県の眺望景観資産に指定された舟形若あゆ温泉からの眺めを、お客様からもっと楽しんでもらおうと、町が案内看板を設置したものです。看板には、テラスから見える山々の名称を記して紹介しています。

みなさんも、美肌の湯とともに、美しい眺めをぜひご覧ください。



### 青少年国際交流事業

7月23日、青少年赤十字国際交流に参加する、舟形中学校3年高橋春菜さんが齊藤渉教育長を訪れ、7月27日から8月2日までの「韓国交流」へ出発することを報告しました。

この交流事業は、平成21年5月に日本赤十字社山形県支部と韓国の大韓赤十字社大邱(テグ)支社が、お互いの文化や習慣、歴史を学び相互理解を深めることを目的とした国際交流に関する協定をもとに行われているものです。

今回参加する高橋さんは、韓国文化に興味があり、独学で韓国語を学んでいるそうです。「舟形中学校JRCの代表としてたくさんのごと学んできたいです。ホームステイが楽しみです。」と抱負を話してくれました。



### 心をつなぐ交流

7月20日～22日の3日間、夏季児童交流が行われ、舟形小学校の5年生51名と世田谷区立代沢小学校37名と同区立山崎小学校73名の5年生が交流しました。

「心をつなぐ友情と絆の宝物」をテーマにした統合後は初めての交流です。町内の観光スポットを巡るウォークラリーや小国川での川遊び、ホームステイなどを行いました。

3日目のお別れ集会では、3校の児童が涙を流しながら、別れを惜しみました。世田谷区を訪れる秋の交流での再会を誓い合っていました。



### 明るいやまがた夏の県民運動

7月18日～8月17日まで、明るいやまがた夏の県民運動が行われます。7月18日のほほえみ保育園での出発式で、運動の重点を確認した後、町内を巡回しました。

また、出発式ではほほえみ保育園児の鼓笛隊による演奏が披露され、ゆるキャラ「めがみちゃん」も応援に駆け付けました。



### ゆるキャラ「めがみちゃん」初お披露目

7月16日、舟形小学校とほほえみ保育園に、縄文の女神PRキャラクター「めがみちゃん」がゆるキャラとなって登場し、めがみちゃんペーパークラフトを配布しました。初めてのお披露目に、舟形小学校の児童たちからは「かわいい～」と大歓声が上がりました。

ゆるキャラ「めがみちゃん」はこれから、国宝「縄文の女神」出土の地PRに大活躍してくれそうです！ みなさん、応援よろしくをお願いします。



## スマイル・サマーフェスティバル

7月12日、ほほえみ保育園で「スマイルサマーフェスティバル」が開催されました。午前中は年長児がレストランやアクセサリー屋さんの店員になり、他の園児がお買い物をする「お店屋さんごっこ」をして楽しみました。夜には年長児親子で踊りや花火などを楽しみ、夏の楽しい一夜となりました。



## めがみちゃんステッカー

『国宝「縄文の女神」出土の地 舟形町』を広くアピールするため、町では公用車とスクールバスなど計21台に縄文の女神とイメージキャラクター「めがみちゃん」をデザインしたステッカーを貼り、7月10日、役場駐車場でお披露目しました。

これは、昨年募集した縄文の女神pr大作戦のアイデアの一つで、舟形町を訪れた観光客や出張先などの多くの方に「縄文の女神」出土の地をprできることを期待しています。



## 「操作一つ はじめっ！」

7月7日、第54回舟形町消防操法大会が開催されました。会場のアユパークは、緊張と熱気に包まれ、21チームが練習の成果を競い合いました。第5分団第11部(福寿野)が見事優勝。また、4名が個人賞に輝きました。結果は次のとおりです。

- 第1位 福寿野(5-11)
- 第2位 長 沢(2-2)
- 第3位 堀 内(6-12)
- 第4位 富 田(5-9)
- 第5位 幅 (1-10)



## プロ選手と一緒にキックオフ

7月6日、モンテディオふれあいフィールドが舟形小学校グラウンドで開催され、ほほえみ保育園の園児と舟形小学校の児童たちがモンテディオ山形の選手とサッカーを通じて交流しました。



### ほほえみ保育園「七夕お楽しみ会」

7月5日、ほほえみ保育園で毎年恒例の七夕お楽しみ会が行われました。園児一人ひとりが短冊に将来の夢などの書いて、笹の葉に飾り付けしました。また、中国から伝わった星伝説(七夕伝説)の、織姫と彦星の物語をお勉強しました。

今年は織姫と彦星は会えたのでしょうか...



### ふれあい育児の広場「七夕」

7月5日、子育て支援センターみらいでふれあい育児の広場が行われ、18組の親子などが参加しました。この日は七夕飾りを作り、笹の葉に飾り付けしました。

願いが叶いますように...



### インターシップ

農業体験を行うため神室産業高校の2年生8名が町内を訪れました。7月2日から3泊4日で町内農家の佐藤昭一さん(長尾)と星川俊則さん(舟形第3)、佐藤勇さん(沖の原)のお宅に宿泊し、農家の生活を実際に体験します。生徒の一人は「専門的な知識を身につけたい」と意欲を語りってくれました。4日間頑張ってください。



### 社会を明るくする運動

7月2日、7月の『社会を明るくする運動』協調月間に合わせ、舟形町保護司会が奥山知雄舟形町長へ「社会を明るくする運動」法務大臣メッセージを伝達しました。

## Old Kyu News(平成25年7月)



### 鮎釣り解禁

7月1日は小国川の鮎釣り解禁です。一ノ関大橋の下では、解禁を待ちわびた大勢の太公望らが竿を出していました。4時間で30匹以上釣りあげた方もいました。

ここ小国川では、各メーカーの鮎釣り大会が毎週のように開催されます。また、鮎釣りをやったことがない方に鮎の友釣り体験してもらおうと、舟形フィッシングクラブ(代表高橋保美さん)が講師となり鮎釣り教室が開催されます。この機会に体験してみませんか？

## Old Kyu News(平成25年6月)



### きれいな川で住みよいふるさと

6月30日、河川一斉清掃が行われ、1,288名の方が参加しました。小国川など地域の河川を中心に、3,120kgのゴミを回収。近年、ポイ捨て禁止の意識が根付いたことなどにより、ゴミは減っているようです。



### バレーボール県大会

6月29日、山形市総合スポーツセンター体育館で全日本バレーボール小学生大会山形県大会が開催され、舟形クロバーズが出場。1回戦、鶴岡地区代表の峰栄女子バレースポーツ少年団と対戦し、接戦の末、セット数1-2で惜敗しましたが、舟形クロバーズらしく最後まで笑顔を絶やさず力を出し切りました。





### TeeBall県制覇

6月29日、山形市総合スポーツセンター多目的広場で第16回全国小学生ティーボール選手権大会山形県予選会が開催され、各地区の予選などを勝ち抜いた32チームが出場。舟形ビッグサンダーズティーボールチームが見事優勝し、8月21日に開催される全国大会出場の切符を手に入れました。舟形ビッグサンダーズでは、野球の楽しさを低学年の時から体験できることで野球人口の増を図ろうとティーボールを4年前から取り入れています。冬にはティーボール教室なども開催し、現在4年生以下17名。「全国大会でも、自分たちのプレーをして優勝目指してがんばります！」とティーボールチーム主将の土田翔雅くんは抱負を話してくれました。



### 長沢和紙保存会総会

6月28日、松原鮎センターで長沢和紙保存会総会が開催されました。新旧会員11名が参加して行われた総会は、今後の長沢和紙の伝承についての課題等を話し合う場となりました。

長沢和紙は昭和39年頃に一度途絶えてしまった文化で、昭和57年に町の特産づくりとして復活。町内の小中学校の卒業証書や和紙人形などに使われています。



### 「縄文の女神に想う」

6月25日、中央公民館で文化講演会が開催されました。講師の宗教研究家の千歳栄氏は「縄文の女神に想う」の演目では縄文の女神を通して、縄文時代の素晴らしさを話しました。



### 地域づくり研修会

6月24日(月)、舟形町中央公民館で地域づくり研修会が開催されました。尾花沢市細野地区の取り組みの事例発表を聞いた後、それらをもとに高崎経済大学教授 櫻井常矢氏から「これからの地域づくりに求められるもの」について講演をいただきました。参加者からのアンケートでは、「細野地区を訪問してみたい。」など多くの感想が寄せられました。町では平成21年度から毎年地域づくり研修会を開催しています。



### CSAパネルディスカッション

6月23日、中央公民館で産消提携事業実践パネルディスカッションが開催され、農家の方々20名が参加。パネラーの最上地域雇用創造推進協議会から派遣されている太田和慶さんが、これまでの地域支援型農業(CSA)の取り組みを発表しました。消費者が望む美味しくて、安心安全な農作物を届ける方法として取組むために課題を共有するフォーラムとなりました。



### 地区中体連総体

6月15～16日、22～23日、最上管内各地で最上地区中学総体が行われ、舟形中学校は日々の努力の成果を発揮しました。野球・テニス・バドミントン・卓球・柔道・陸上・相撲などの団体や個人で県大会への出場を決めました。どの競技も懸命にプレーする姿は、応援に駆け付けた地域の人に感動を与えました。



### すずの会陶芸教室

6月20日、西堀公民館で「縄文すずの会」が、舟形焼きわかあゆ 薫風窯の金寛美氏を講師に迎え、陶芸教室を開催しました。今回制作された土器のランプは、8月3～4日に行われる「縄文炎祭」で、町内の道路を灯りで彩る「ドキドキ(土器土器)ロード」に使用される予定です。また、縄文すずの会のみなさんは縄文炎祭にあわせ、西堀公民館で湯茶接待のおもてなしをする予定です。縄文の女神出土の地にみなさんぜひお越しください。



### わらび定植事業

6月20日、沼澤昭好さん(一の関)の裏ノ山にある転作田で、わらびの定植作業が行われました。これは、県農業技術普及課が耕作放棄地対策などの目的でわらびの産地化に向けて取り組んでいるものです。わらびは比較的容易に大面積を維持管理でき、短期集中的な労力で所得が得られること、高齢者労力を活かせることなど、地域で取り組める作物としても期待されています。



### 地域の方と一緒にボランティア

6月16日、沖の原町内会(会長遠藤繁雄さん)と青少年育成推進委員(委員長沼澤 啓さん)とボランティアサークル「ふなっこ」(代表伊藤友紀子さん)の35人が沖の原インターチェンジ付近を中心に草刈とゴミ拾いを行いました。また、同日舟形駅の清掃も行いました。舟形町の玄関を清掃したことで、来町したお客さんなど、利用者を気持ちよく迎えられます。ありがとうございました。



### ふれあい育児の広場

6月11日、保健センターで今年度初めての「ふれあい育児の広場」が開催されました。今回は保育所入園前の親子など24組51名が参加。手遊びや絵本の読み聞かせなどをして、親子の交流はもちろん、子ども・保護者同士での交流を深めました。今年も季節のイベントなど年間15回、事業を予定しています。

なお、次回は7月5日に「七夕の飾り付け」を行う予定です。



### 名車がずらり

6月9日、小国川河川公園アユパークで「第2回ヒストリックカーミーティングin舟形」が開催されました。ロールス・ロイス、フェラーリf40、ジャガーなど世界を代表する名車がずらり勢ぞろいし、約1万2,000人の来場者を魅了しました。

このイベントはもがみ南部商工会舟形支部が「多くの世代の方々に四季豊かな舟形町を知ってもらいたい」というコンセプトのもと開催したものです。



### 無病息災を祈願

6月8日、長沢地区で青年団が中心となって病送りが行われました。この行事は、田植え後の「さなぶり」の時期に行われる伝統行事です。太鼓を鳴らしながら、わらや木の枝で作った人形とともに子どもたちと町内を練り歩きました。地区内の無病息災を祈願するものです。

この行事は町内各地で受け継がれていて、内山・舟形地区でも同じ日に、紫山町内会では9日に行いました。



### 舟形町観光ボランティアガイド

6月7日、舟形町観光ボランティアガイド協会(会長 石川孝夫さん)が、新庄市歴史センター主催の歴史講座「明倫堂」の方50名に舟形町を案内しました。この日は、協会員7名が、西ノ前遺跡や歴史民族資料館、太折地区の天満神社などの魅力を紹介しました。

なお、舟形町観光協会ボランティアガイド協会は現在22名。「自然と文化に心を癒し、楽しい思い出を持ち帰っていただける案内人」を目指し、日々活動しています。



### 自己記録更新を目指して

6月5日、舟形町と大蔵村の小学校陸上競技大会が舟形小学校グラウンドで開催されました。これは、舟形町内の4つの小学校が1校に統合したことで、町内で他校と競い合う機会がなくなったため、大蔵村立大蔵小学校と合同での開催することになりました。

2校の5・6年生が、100mなどのフィールド競技と、ソフトボール投げなどのトラック競技で自己記録更新を目指しました。



### 商工会青年部が「絆」感謝運動

6月3日、もがみ南部商工会青年部舟形支部(部長吉田達也さん)の会員14名が、舟形小学校のライン引きや花壇の整備などをボランティアで行いました。

この活動は、6月10日の「商工会の日」に合わせ、全国の商工会青年部が一齐に慈善事業を行おうと実施されたものです。



### 「まとい」受章祝賀会

6月2日、舟形町消防団の日本消防協会特別表彰「まとい」の受章を受け、ベルフォール新庄玉姫殿で受章祝賀会が行われ、約240名が出席しました。特別表彰「まとい」は、全国消防操法大会出場、消防庁長官旗受章などの選考基準を満たす優れた消防団に贈られるもので、全国2,234ある消防団の中から10団体に贈られたものです。

奥山知雄町長は、「消防団は地域住民にとってもっとも身近な防災機関。今後も町を災害から守るために尽力してほしい」と挨拶しました。



### めがみちゃんと一緒にバレーボール！

6月2日、大蔵村立大蔵小学校体育館で開催された、全日本バレーボール小学生大会(ファミリーマートカップ)新庄地区予選会で、舟形クローバズ(団員12名)が第2位の成績を収め、県大会出場を果たしました。

また、縄文の女神PRキャラクター「めがみちゃん」がデザインされたユニフォームがこの日、初お披露目されました。

県大会でもクローバズとめがみちゃんが躍動してくれるでしょう！

がんばれ、クローバズ！



### 安全狩猟射撃大会

6月2日、舟形町射撃センターで、最上猟友会舟形支部の安全狩猟射撃大会が開催され、会員26名が参加しました。この大会は、クレーと呼ばれる素焼きの皿を空中で撃ち壊すクレー射撃というスポーツ競技で、トラップ競技のシングルとダブル、スキート競技の3種目で得点を競い合いました。また、安全に狩猟するための講習会も同時開催されました。



### 松橋わらび園がオープン！

6月2日、松橋わらび園がオープンしました。この日は、開園を待ちわびた260名が、午前8時の入場開始時間から2時間、わらび採りを楽しみました。

▼開園／7月上旬まで

毎週水・日曜日午前8時～10時(完全予約制)

▼予約・問い合わせ／

松橋わらび園管理組合

☎0233(35)2665



### きれいな花を町いっぱい

舟形町青少年育成町民会議が主催する「花いっぱい運動」が各地区で行われています。木友町内会では6月2日に花植えが行われ、地域の方と子どもたち約30名が参加しました。この運動は、花植えや管理など共同作業を通して、地域の一員としての自覚と、公共心、奉仕する心を育てることを目的に毎年行われています。

7月下旬に町民会議会長や青少年育成推進員などが、各町内会を巡回し審査を行い、優秀1町内、優良2町内を9月3日開催の町青少年健全育成町民会議・町PTA合同研修会で表彰する予定です。



### 大きく育てね！

5月31日、舟形小学校2年生48名が、小国川漁協が管理する育成施設で4～6cmに育った稚鮎約1,000匹を小国川に放流しました。子どもたちは「大きく育てね。バイバイ。」などと手を振りながら、泳いでいく稚鮎を見送っていました。



### 英語に触れよう！

5月31日、舟形小学校2年生48名が外国語活動を行いました。この活動は舟形町教育委員会が平成15年度から全国に先駆けて行なっているもので、日本の英語教育の第一人者、阿部フオード恵子先生からご指導をいただいています。

今回は普段学校で使用するハサミやノリなどを使って、楽しみながら英語を聞く力(ヒアリング)を養いました。



### 田植えを体験

5月30日、舟形小学校の学校田で同校の5年生51名が田植えを行いました。「初めて田植えをしました。難しかったけど、きれいに植えられて良かったです。秋の収穫が楽しみです。」と児童の一人は話しました。

今回植えられた「はえぬき」は山形県のオリジナル水稻奨励品種で、食味が大変おいしいお米です。秋に収穫して、秋季世田谷交流の時に持って行く予定です。

児童のみなさん、おいしいお米が実るように田んぼの管理も頑張りましょう！



### 人権の花を咲かせよう！

5月29日、人権啓発活動として「人権の花」運動が舟形小学校で行われ、全校児童265名と人権擁護委員らがサルビアやマリーゴールド、ペゴニアの苗300株をプランター100基に植えました。

「人権の花」運動は、花の栽培を通して命の大切さや相手への思いやりの心を育てようと、新庄人権啓発活動地域ネットワーク協議会が毎年行なっているものです。花植えを終えた児童代表の齋藤颯斗くんは「みんなで協力して育てて、きれいな花を咲かせたい」と話しました。



### 力を合わせて Let's Go!

5月26日、舟形小学校で統合後初めての運動会が、舟形小学校グラウンドで開催されました。

「輝け！舟形魂 力を合わせてLet's Go」のテーマで、赤組は齊藤大夢くん・白組は真見凌くんの組頭を中心に、優勝を目指して力を集結。家族や地域の方など大勢の方の声援を受け、熱い戦いを繰り広げました。



### 里山合宿

5月25～26日、「里山合宿」が行われ、舟形の自然豊かな里山での農作業などを体験したいと都会から若者5名が参加しました。これは、舟形の人々の温かさ、里山の魅力を楽しんでほしいと、地域おこし協力隊が計画したものです。年間5回の開催で、米や大豆を栽培し、収穫した大豆から味噌作りにも挑戦します。この他、わらじ編み・わら細工、陶芸、アユ漁など、舟形の自然を満喫できるメニューが盛りだくさんです。

▼詳細／

<http://www.treep.jp/blog/earthday/2013/05/2013525-26-in.html>



### Let's Walking

5月16日、三原茂公認指導員を講師に迎え、健康ウォーキング教室を開催。正しいウォーキングを学びたいと14名が参加。清流小国川沿いのサイクリングロードを歩きました。



### 歓迎！五橋中

5月15～16日、仙台市立五橋中学校の2年生、233名が野外活動で舟形町を訪れました。7年目を迎えた今年も奉仕活動や、田植えなどを行ない、家庭に民泊して交流しました。2日目には「そば打ち体験」を行ない、自分で打ったそばを堪能しました。

ご協力いただいた民泊先の90戸のご家庭のみなさん、地域のみなさん、暖かく迎えていただき、本当にありがとうございました。



### トップランナーを目指して

5月15日、舟形Jr.ランニングクラブがスタート。舟形中学校グラウンドで初回の練習が行われました。舟形の子どもの体力・走力の向上を目指し、毎週月・水の夜行われます。



### 舟形町の歴史と文化を護る

5月13日、舟形町文化財保護委員会及び舟形町歴史民俗資料館運営委員会が中央公民館で行われました。今回の委員会では今年度の事業計画などについて協議しました。

また、西ノ前遺跡の整備について、検討委員会から報告を受け、委員会としての意見を出しました。



### ほなみで「おはなみ」'13

5月10日、地域密着型福祉複合施設ほなみで、恒例の舟形第2老人クラブと合同の花見が行われ、約30名が参加しました。今年は花の芽を「ウソ」という鳥が食べたか、低温が続いたためか、満開とまではいかなかった本陣桜。そのかわりに昼食会と歌や踊りに満面の笑顔が咲きました。



### オープニング大会

5月10日、舟形町グラウンドゴルフ協会オープニング大会があゆっこ村特設コースで開催。生涯スポーツの振興、参加者相互の交流を深めることを目的に協会員約70名が参加しました。

雪解けで芝もまだ短く硬いコースコンディションの中、川合久典さん(舟形第4)が、2つのホールインワンを達成するなどし、見事に優勝しました。今後も継続して大会が行われる予定です。





### 水道技術講習会

5月9日、町内水道指定業者を対象に、水道技術の向上を目的とした水道技術講習会を、舟形町保健センター駐車場で開催。最新の機材の取扱いなどを学びました。

水道は私たちが生活するうえで重要なライフラインです。事業者のみなさんよろしくお願ひします。



### 年祝いと厄払い

5月6日、福寿野公民館で福寿野町内会「年祝い」が行われました。これは、この年に数え年で還暦(60歳)と厄年(42歳)を迎える方たちが、地元にある秋葉神社に供物などをお供えし「厄払い」と「年祝い」を行う、伝統行事です。町内会のみなさんを招待し、お祝ひしました。



### 春の大演習

5月5日、平成25年度春季消防演習が開催されました。この演習は、消防精神と団員の士気の高揚を図り、災害に備えて実力のある消防力を確立することを目的に毎年行われるもので、舟形消防団員や関係者ら約450名が参加しました。

舟形本町通りでは、分列行進と纏太鼓、幼年消防クラブによる宣誓などが行われ、アユパークでは小・中隊訓練やポンプ操法演習などで、日頃の鍛練の成果を披露しました。



### 未来の子どもたちへのメッセージ

5月1日、堀内地区に、高さ2.5メートル幅2.5メートルの大きな看板が設置されました。これは、堀内町内会と堀内地域農地・水保全会が、未来の子どもに美しい山と川など堀内の自然を残すためのメッセージにしようと設置したものです。



### 完全燃焼！

4月29日、舟形中学校運動会が行われました。今年の運動会のテーマは「完全燃焼 解き放て我ら舟中の力を」です。青組は「敢為邁往(かんいまいおう)」「(困難に屈せずやり通し、ひたすら進む)、赤組は「為虎添翼(いこてんよく)」「(強いものにさらに勢いをつける)を組のスローガンに掲げて、晴天の中、熱い戦いを繰り広げました。



### クリーン作戦

舟形中学校の生徒のみなさんによる「町内クリーン作戦」が、県縦断駅伝競走大会の応援終了後に行われました。これは、道路脇などのゴミを拾い町をきれいにしようという取り組みです。

生徒たちに負けず、みんなで町をきれいにしましょう。



### タスキをつなぐ

第58回県縦断駅伝競走大会が行われ、2日目の4月28日には舟形町を通過しました。小雨の降る中、沿道には舟形中学校の生徒や町民の方など、たくさんの方々が応援に駆け付け、タスキをつなぐランナーたちに大きな声援を送りました。

舟形町からは、山口大陽選手(舟形町教育委員会)が2区(6位)と13区(4位)の2区間、海藤竜也選手(紫山)が14区(5位)を力走し、新庄最上チーム総合8位に貢献しました。



### 県民ゴルフ場が今季オープン

4月27日、県民ゴルフ場が今季オープンしました。オープンに際し、県や町の関係者が参加して神事を行い、安全を祈願しました。その後、オープンを待ちわびたゴルファー40組140人がプレーを楽しみました。



### 舟形町消防団への「纏(まとい)」が展示

4月26日、舟形町役場本庁舎ロビーに舟形町消防団に贈られた「纏」が展示されました。この「纏」は日本消防協会が全国にある2,234の消防団の中から選ぶ、10団体の優良消防団に受章記念として贈られる大変良栄誉あるものです。舟形町消防団は、全国消防操法大会への出場や日本消防協会長表彰旗の受賞などから、規律厳正にして技能熟達し、成績優秀であることが認められ、平成25年2月25日に栄えある受賞となりました。

なお、6月2日に受賞祝賀会が開催される予定です。



### こぶしの道

一の関大橋から舟形若あゆ温泉までの沿道に植えられたこぶしの木が、白い花をつけ見ごろを迎えています。

町の花「こぶし」は、4月から5月にかけて純白の花を咲かせます。

舟形若あゆ温泉のお湯と、県の眺望景観資産に指定された舟形若あゆ温泉テラスから眺める景観とともに、こぶしの道をお楽しみください。



### 炎祭実行委員会

4月24日、第2回縄文炎祭の実行委員会が中央公民館で開催され、開催日の確認や、テーマの設定、内容についての話し合いが行われました。実行委員会は、地域おこし研究団体「Tmプロジェクト」と青年団体「FITS」、西堀町内会のみなさんなどで構成されています。

【縄文炎祭】

○日時...8月3日(土)～4日(日)

○会場...女神の丘

※なお、国宝「縄文の女神」の里帰り展が8月3日(土)～4日(日)まで開催される予定です。



### 若鮎交流塾

4月22～23日、若鮎交流塾(代表叶内富夫さん)が仙台市立富沢中学校2年生135名の体験教育旅行の受け入れを行いました。生徒たちは、林業(枝打ち)とシイタケの植菌の農業体験をした後、町内39軒の民泊先へ宿泊して、山菜などの田舎料理をはじめ町の魅力を満喫しました。

若鮎交流塾では田舎の「暮らし」「遊び」「食」「文化」体験を通して、「里地里山の保全」と、「楽しみ」となる交流を目指して毎年受け入れをしています。



### 子どもたちの健全育成を願って

4月21日、舟形小学校で統合後初めての授業参観が行われました。新しく増設された教室では、3年生の国語の授業が行われ、児童たちが自分の意見を活発に発言していました。新しい環境での学校生活を元気に送っている児童たちを見て、父兄たちは安心した様子でした。また、授業参観終了後には、ランチルームで舟形小学校PTA設立総会が行われました。会では、PTA会長をはじめ各役員を選出。PTA会長となった八鍬雅章さんは「今年度は長い歴史を築いていく舟形小学校の土台作りとなる年です。PTAのみなさんで、子どもたちが健全に育つ環境づくりを協力して行なっていきましょう。」と就任のあいさつをしました。



### 一つの命を大切に

4月18日、ほほえみ保育園でかもしかクラブ発会式が行われ、今年入園した園児にかもしかクラブのバッジが贈られました。かもしかクラブのリーダー木島真紀さんは「かもしかクラブは、一つしかない大切な命を守るためのおべんきょうをします。一緒に楽しみながらがんばりましょう。」とお話しました。子どもたちの安全を地域でも見守っていきましょう。



### 町内会長会議

4月17日、平成25年度町内会長会議が中央公民館で行われました。午前中に行われた連絡協議会総会では、ワークショップという手法で「冬季間における高齢者宅などの除雪対応」をテーマに、町内会間で情報交換をしました。午後からの町内会長会議では地域づくり研修会が行われ、福寿野町内会と内山カレーの会、除雪ボランティア受け入れ事業の取り組みや活動事例を発表、地域おこし協力隊が平成24年度の活動報告を行いました。



### 納税組合長会議

4月16日、町納税組合長会議が中央公民館で行われ、委嘱状が交付されました。平成25年度の活動を確認しました。納税組合長は、町税などをみなさんから集めて納付したり、納税意識の高揚を図る活動をします。



### 衛生組合連合会総会

4月16日、平成25年度衛生組合連合会総会が中央公民館で開催され、各町内会の衛生組合長に奥山町長から清掃監視指導員の辞令が手渡されました。衛生組合長は、ごみの分別収集の促進指導、不法投棄の防止や清掃指導など、みなさんの住み良い生活環境をつくれます。1年間よろしく願います。



### 火の用心

4月14日、春の火災予防運動に合わせ、防火キャラバン隊が町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。

みなさんで火の用心に努めましょう。

平成25年度全国統一防火標語

～消すまでは 心の警報 ONのまま～



### みらいのアスリートが集結

4月14日、舟形町スポーツ少年団結団式がB&G海洋センターで行われ、6団体85名が参加しました。これは、スポーツ少年団員としての意識の高揚を図り、これからの活動に対する意欲を喚起し、各団員や指導者の交流と団結を図る目的で、毎年この時期に開催しているものです。

式の中で、やはぎ接骨院(山形市)の矢萩 裕院長を講師に迎え「コーディネーショントレーニング」と題した講演会を開催。実技を中心に子どもたちが強い体を作るために楽しみながら行えるトレーニング方法などを教わりました。



### 山の神が田の神に

4月13日、野「山神社祭典」が行われました。まつりの由来は3月16日から山の神が田の神になる日とされ、その日の朝についた餅を16個にちぎり、一升杵に並べて山の神に供え五穀豊穡を祈願するものです。この地区では、この日は、「山の神荒れ」といって天候が悪くなるが多いため、山や川に出掛けずに家で休むこととし、春の農作業に向けて英気を養います。

また、野町内会の青年団が2ヵ月かけて手作りしたお神輿を、子どもたちと一緒に元気にかつぎ、全世帯を回りました。



### 頑張れ！山口選手・海藤選手！

第58回山形県縦断駅伝競走大会(4月27～29日)に出場する「新庄・最上チーム」。舟形町からは、山口大陽さん(舟形町教育委員会)と海藤竜也さん(紫山:楯岡高校3年)が選出されました。「新庄最上地区代表として全力を尽くします。」と山口選手。

2日目には舟形町を通過します。山口、海藤両選手、新庄・最上チームをみんなで応援しましょう！



### 気をつけていってらっしゃい！

4月11日、交通安全協会舟形支部と交通安全母の会、町内会長のみなさんなどが春の交通安全県民運動に合わせて交通安全立哨活動を行いました。4月から小学校の統合により徒歩通学からバス通学となった地区もあり、スクールバス停留所を増設。バス停留所までの通学路で子どもたちが交通事故に遭わないようにと、交通安全を呼び掛けました。



### ピカピカの1年生

4月10日、統合して初めての入学式が舟形小学校で行われました。43名の新入生は自分の名前が呼ばれると元気いっぱいの大きな声で返事をしていました。式の中で6年生の豊岡楓華さんは「小学校には楽しいことがいっぱいあります。分からないことがあったら、おにいさんおねえさんに聞いてください。一緒に楽しい学校生活を送りましょう」と歓迎の言葉を話しました。



### 新舟形小学校開校

4月9日、舟形小学校で「開校式」を行いました。式では新たにデザインされた校章の入った校旗が奥山知雄町長から渡辺正校長に手渡されました。奥山町長は「何事にも挑戦する勇氣と信念を持って、かしこく、やさしく、たくましい子どもになって欲しい」と式辞を述べました。

また、開校式終了後には、正面玄関に向かって左側に建立された開校記念碑の除幕式も行いました。



### ヒトと愛犬を守る予防注射

4月9・10日、各町内会の公民館前などで狂犬病予防注射を実施。狂犬病予防法により生後90日を超えた全ての犬は、登録と年1回の予防注射が義務付けられています。

今回受けられなかった方のために6月4日に2回目を予定しています。



### キラキラ輝く42個の希望の光

4月8日、舟形中学校で入学式が行われ4つの小学校から42名の新生が入学しました。「中学校は、夢を実現するために、勉強や部活を通して心と体を大きく成長させるところです。共に頑張っていきましょう。」と荒井祐也校長先生が式辞を述べました。



### 野を越え、山越え、谷越えて

4月6日と7日、JR陸羽東線を機関車「SL湯けむりDC号」が走行しました。機関車は黒煙と蒸気を勢いよく噴きあげながら、まだ雪が残る山々の間を走り抜け、大きな汽笛の音を響き渡らせました。これは、4月1日にスタートした仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの一環としてJR東日本が企画したものです。

両日陸羽東線沿線には多くのSLファンが訪れました。



### 春の交通安全県民運動

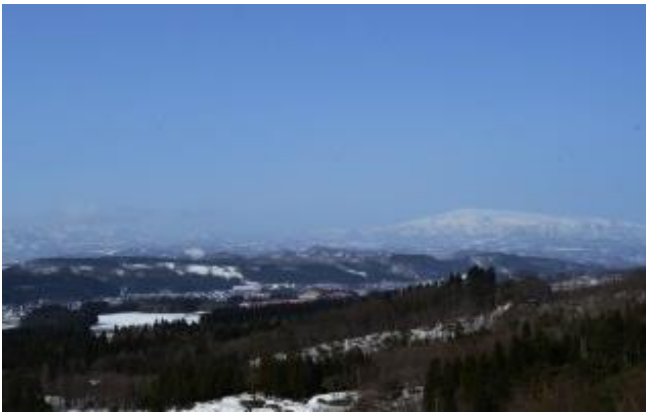
4月6日から15日かけて、春の交通安全県民運動が行われます。それに先立って4月5日、役場前駐車場で出発式が行われました。春は新入児童などの通学が始まる時期です。交通ルールを守り、交通事故を防止しましょう。

《交通安全「やさしさをのせて走ろう山形路」県民運動》



### “にこにこ”がいっぱい入園式

4月5日、第6回ほほえみ保育園の入園式が行われました。希望にあふれる43名の新入園児を迎え、計147名(0~5歳児)でのスタートとなりました。「お友達や先生といつも仲良く元気に保育園に来てください。元気いっぱい笑顔いっぱい友達いっぱいの園にしよう!」と佐藤栄起園長がお話しました。



### 山形県眺望景観資産に指定

3月19日、県眺望景観資産に「若あゆ温泉」のテラスからの景観が指定され、4月2日付山形県公報に掲載されました。県内では4番目、最上地域では初の指定です。ここから眺望できる景観は、心の癒しや爽快感を感じるばかりではなく、学術的価値もあると言われている小国川の河岸段丘の地形や月山、葉山などの県内を代表する山並みが望め、加えて町の田園風景も見ることができます。

ここから観られる「絶景」と「若あゆ温泉」のお湯をお楽しみください。